

ゆめ・まち・みらい vol.40

阪急阪神ホールディングスグループ社会貢献活動
「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」グループ従業員向け情報誌 [2019年冬号(年4回発行)]



夢を力に変える人 No.12

地域に愛される 学びの場として 森を守り、 伝えていきたい

フィールドソサイエティ

●阪急阪神
未来のゆめ・まち基金
助成対象団体レポート

●ソーシャル・ピープル
インタビュー
歌手 平原綾香さん

●グループ従業員の
ボランティア活動レポート

ソーシャルグッズ
読者プレゼント 詳しくは
裏表紙へ

阪急阪神ホールディングスグループ

こちら事務局

基金ご参加の皆さまへ 応援したい市民団体に一票を!
「ゆめ・まち基金 市民団体助成プログラム」
選考アンケートにぜひご回答下さい(1月中旬送付)



皆さまの募金を積み立て、会社からの同額寄付と
合わせて阪急阪神沿線の市民団体を助成する
「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 市民団体助成
プログラム」。10回目となる今年度の公募には、
102団体から申請をいただきました。ゆめ・まち基金
にご参加の方には、1月中旬に選考アンケートをお
送りします。アンケートで高評価の市民団体は、本
選考で加点しますので、ぜひご回答下さい!

なお、本選考における従業員代表は次の方々です。
阪急電鉄 創遊事業本部 創遊統括部/田中浩さん
阪急電鉄 えきまち事業部/牧野敏夫さん
阪急阪神不動産 経営企画本部 総務人事部 総務グループ/吉川尚孝さん

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」は随時、皆さまのご参加お待ちしております!
※詳しくは、ページ下部のHPの「グループ従業員向けページ」をご覧ください。

助成プログラム審査の流れ
11月27日(火)・30日(金)
事務局による書類選考
1月中旬
基金参加者アンケート送付
2月4日(月)
基金参加者アンケート締切
2月18日(月)・19日(火)
会社・従業員代表による本選考
3月末
助成実施

今年も「書き損じハガキ寄付プログラム」実施中!
ハガキ回収期間は1月31日(木)まで

誰でも気軽に参加できるボランティア「書き損じハガキ寄付
プログラム」。今年も皆さまからお預かりしたハガキを切手に交換
し、平成30年7月豪雨(西日本豪雨)で被災した地域の子ども
達を支援する団体に寄付します。ぜひご協力下さい!

- 主な回収場所
- ①阪急電鉄本社ビル 2F従業員食堂など
 - ②阪神電気鉄道本社ビル 3・4・6・7Fエレベーター横通路など
 - ③阪急阪神不動産 阪急ターミナルビル内など
 - ④阪急交通社 各拠点(新橋・青葉台・大阪・名古屋・福岡)事務所
 - ⑤阪急阪神エクスプレス 各営業所
 - ⑥阪急阪神ホテルズ 10ホテル(第一ホテル東京、大阪阪急ホテルなど)
他グループ各社

※個人情報は必ず塗りつぶして入れて下さい。※切手への交換手数料は事務局が負担します。
※ポイント申請とあわせて事務局に社内便や郵便などでお送りいただいても結構です。

寄付先 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

日本と世界で子ども支援活動を行う国際NGO。日本では、自然災害被災地での
緊急・復興支援をはじめ、子どもの貧困や虐待などの課題に取り組んでいます。

ポイント申請 書き損じハガキの寄付活動に対して社会貢献ポイント(5ポイント)を進
呈。下記URLの「Topics」より申請書をダウンロードし、2月末日までに、
ご申請下さい。なお、期間中、何回ご寄付いただいても、申請は1回限り有効です。
※上記以外の回収場所など、詳しくはページ下部のHPの「従業員向けペ
ージ」内Topics欄をご確認下さい。

VOICE!



今年度は災害が多く、メディアを通じて被災地の状況を目にすることも多か
ったと思います。「被災地の方のためになることをしたいけど一歩が踏み出しづ
らい」という方も身近でできる今回の取り組みをきっかけに一歩踏み出して
みませんか。(阪神電気鉄道株式会社 都市交通事業本部 運輸部 企画課 余田 泰征さん)

ソーシャルグッズ
読者プレゼント

3名様に
プレゼント



「平原綾香 Jupiter 基金」
チャリティーブレスレット



手首にキラリ、おしゃれな
アクセントはいかが?

5ページに登場した平原綾香さんは、ご
自身のウェブサイトなどで様々なチャリ
ティーグッズを販売されています。今回、
その中から平原さん自らがデザインした
ブレスレットをプレゼント!ピンクのベル
トにシンプルなチャームがおしゃれです。
売上(製作費を除く)は「ハンズオン東
京・ベースボールプロジェクト2018」に
寄付。東北の野球少年を東京へ招待し、
合宿や交流試合を体験してもらうとい
う試みで、震災の風化を防ぐと同時
に、災害時に行動を起こせるリーダ
育成も目標としている活動です。

価格/2,000円(税込)
販売/AYAKA HIRAHARA Official Website
URL/https://www.camp-a-ya.com/products

ご希望の方は下記事務局までメールでお申
し込みください。メール件名を「ブレスレッ
ト希望」とし、本文に「氏名」「所属会
社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆ
め・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切:2019年1月31日(木)

編集後記

今年も職場でできる身近なボランティア「書き
損じハガキ寄付プログラム」を実施します!あ
なたの1枚が西日本豪雨で被害を受けたこ
ども達の笑顔に繋がります。皆さまのご参
加、お待ちしております!(正岡愛弓)

子ども達の成長に伴い、幼少期における自然
体験の大切さを実感しています。でも実は大
人にとっても自然からの学びと癒しは重要!
今回の特集記事でご紹介する「法然院の
森」に出掛けてみませんか?(平野里美)

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)
shakai@hankyu-hanshin.co.jp
TEL:06-6373-5086 FAX:06-6373-5174
URL:https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/
※グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は8984です。



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは
「未来にわたり住みたいまち」づくりをめざし、「環
境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の
社会貢献活動の推進、市民団体の支援、従業員の
ボランティア活動の応援の3つに取り組む当
社グループの社会貢献活動です。

阪急阪神 ゆめ・まち

検索

夢を力に変える人 No.12



フィールドソサイエティ

地域に愛される学びの場として 森を守り、伝えていきたい

「フィールドソサイエティ」は、地域の子どもから大人まで参加できる環境学習活動に取り組んでいる市民グループ。森を開かれた学びの場とすることで、自然環境の大切さを伝え、森を守り続けている。

役目。すると自ら「なぜだろう」という次の扉を開いてくれるのです。その姿は私達にとっても大きな喜びであり、学びでもありますね」
そしてもう一つ大切にしていることが「地域との関わり」だ。法然院の森は、地域に愛される身近な森。この森の手入れなどの活動を通して森に関わった経験を、日々の生活に結びつけてもらえるよう、森と人間の間を意識的に伝えていく。「森と人間の間が希薄になったのは、ここ数十年のこと。私達の活動が地域と森をつなぐきっかけになればと思っています」と久山さんは語る。

活 当初は、「森の教室」を毎月実施させるために苦心していた。しかし、徐々に運営体制も整って余裕ができた。活動テーマの選定も、自然界「全体」の把握につながるようなプログラムを意識するようになったという。「自然界では土や草木、動物、そして人間も、すべてつながっています。だから自然環境を学ぶためには、総合的な視点を持って活動するように努めています」と久山さん。「地球的な視点で考え、地域的に活動する」が当初から変わらないモットーだ。

また、この数十年間で、世の中の環境保全意識が高まってきたとも感じているという。「活動を始めた頃には『持続可能な社会』や『生物多様性』といった言葉は身近なものではありませんでしたが、今では多



7



5



8



6

5 活動の拠点である「法然院森のセンター」には、森で発見した物や写真などが並んでいる。6 「森の宝物コーナー」には、拾ったものに解説を添えて、身近な森の興味を引く標本が展示されている。7 森の手入れは専門家の指導を受けて取り組んでいる。簡単な手入れは子ども達も一緒に。8 「法然院森の教室」がスタートした境内の講堂。森の教室はこれまでに120回以上、開催している。

1 「森の子クラブ」の対象は小学校3年生から中学生まで。親子2代にわたり参加している会員も。2 「この活動を始める前から、法然院の森では個人的に野鳥観察をしていました」と語る、代表の久山喜久雄さん。3 運営は10名のボランティアスタッフが担当。「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」は、社員の方々の気持ちがこもった他にはない基金。皆さんとのつながりを励みに活動できている、とのこと。助成金は、より多くの方が参加できる新しい活動の企画にあてられている。4 毎回、多様なジャンルの専門家を招いて講演を行っている「法然院森の教室」。身近な自然から地球環境についてまでテーマは幅広い。



4



1



3



2

「森」 は、学びのテーマを見つけるにはもってこいの場所です。そう語るのは、京都・東山にある「法然院の森」を中心に、環境学習活動や環境保全意識の向上に取り組む「フィールドソサイエティ」の代表 久山喜久雄さんである。始まりは33年前。「お寺を自然を学ぶ場に」と、法然院のご住職から提案があったことがきっかけだった。

ちょうどその頃、もともと山歩きが趣味だった久山さんも野鳥や草花といった個々への興味から、「自然界全体のつながりを知り、その環境を次世代へ伝えていくことが大切」だと考え始めていた。早速、スタートしたのが「法然院森の教室」である。法然院の境内にある講堂で毎月、自然環境の専門家による講演や、自然をテーマにした音楽会・展覧会などを開催した。さらに4年後、地域の子ども達を対象に、森で体験学習を行う「森の子クラブ」が始まり、7年後には「法然院森のセンター」を開館した。以来、お寺と市民による一人三脚の活動が続いている。

フ イールドソサイエティでは、「体験」することを重視している。草木を観察し、土に触れ、森の匂いを感じる。そこから気づきや興味のきっかけを得ることこそ一番の学びになるからだ。

「子どもは葉っぱに穴が空いているだけでも興味を持ちます。そこに教科書的な解説は不要で、一緒に感動するのが私達の、多くの人が気づき始めていますようです」

今 後は地域との関わりをさらに深め、幼稚園や小学校などと連携した活動を増やしていきたいと考えている。また、「京都」という地の利を活かし、古都ならではの文化と自然環境と一緒に学ぶ取り組みもイメージしているという。

長年にわたり自然と人間の関わりを考え続けてきた久山さんに、私達がすぐにでもできる自然環境学習は何かと聞いてみた。「視点を変えてみたり、視野を広げたりするだけでも気づきは得られます。まずは、人間だけが地球の住人ではないという観点を持ちながら、森や山、海などに出かけて自然を体感するだけでも素晴らしい学習になると思います。きっと、人間も自然の一部であると感じるはずですよ」

フィールドソサイエティ
各活動の開催についてはウェブサイトをご確認ください。また、活動を支援する「賛助会員」「寄付」についてはウェブサイト内「賛助会員」のページに掲載されています。
〒606-8421
京都市左京区鹿ヶ谷法然院町72-2
法然院森のセンター
TEL : 075-752-4582
URL : <http://fieldsociety.la.coocan.jp/>

series 95

困ったときはお互いさま。 ここはみんなで育つ「家」。



「だんらんしんぶん」取材の様子。さまざまな場所への「社会見学」も子ども達にとって大きな学びとなっている。

団楽長屋プロジェクト

T E L : 06-6836-9011
E-mail : danran.nagaya@gmail.com
U R L : http://danran-nagaya.com/
事務所 : 豊中市

核家族化が進む現代、地域間での人付き合いは希薄になり、隣近所に住む人の顔さえ知らないというケースも少なくない。そのため、生活において何か困ったことがあったとき、頼れる人や場所がなく、子ども達はいろいろな世代との関わりを持つ機会もない。そんな課題を解決するために、一人のシングルマザーが立ち上げたのが、『団楽長屋プロジェクト』だ。

古民家を改装して学童保育や保育所を運営し、働くママをサポート。また、子ども記者が取材から製本・配布などを行う「だんら

んしんぶん」の発行をはじめ、地域で暮らすさまざまな「得意」を持った人達に協力を依頼することで、子ども中心の多世代交流の拠点を生みだしている。たくさんの大人と関わることは、コミュニケーション能力や自己肯定力を養うきっかけとなる。「子どもを預けることで心も成長できる場所」と、ママ達からの信頼も厚い。一昔前には当たり前にあった「助け合い精神」。ご近所全体で子どもを育てた「長屋住まい」のような温かい関係性とつながりを取り戻すことをめざしている。

series 96

「日本一の古墳」と言われたいから。 歴史と価値を、みんなで守る!

伊丹市の南部にある、御願塚古墳。豊かな自然に恵まれ、整備された遊歩道は絶好の散歩コースとなっていて、周囲を囲む堀では、のんびりと泳ぐカルガモの姿を見ることが出来る。

ここは昔から地域の憩いの場であり、子ども達の遊び場でもあった。しかし昭和40年代、堀が下水に汚染され、また、外側の道路から墳丘が見えなくなるほど木々が生い茂るなど、環境が悪化。安全面からも不安の声が上がった。

そんな状況を改善し、歴史遺産である古墳を保護しようという意識が高まったのが「御願塚史跡保存会」。清掃や剪定、ツツジの植樹などの景観美化活動と共に、古墳の価値を伝える歴史講座や地元小学校の校外学習の受け入れなどにも幅広く取り組んでいる。その甲斐あって、御願塚古墳は昔の姿を取り戻し、地域全体においても「この史跡を維持しなければ」という意識が高まるようになった。

わが町の宝を守りたい…。その思いで続けてきた50年の活動が、1,500年前の風景を見事に蘇らせている。



結成50周年を記念した「古代米栽培」では収穫の喜びを体験。

御願塚史跡保存会

U R L : https://facebook.com/goga-dukakofun/
事務所 : 伊丹市

series 94

世の中の役に立てる「自分自身」を企画・設計。 めざせ、「人生デザイナー」!

さまざまな事情から親と暮らすことができず、児童養護施設などで育つ子どもは全国に約45,000人いる。この子ども達は、18歳(一部20歳)になると行政による養育支援が打ち切られるため、頼れる身寄りもなくお金も知識もない状態で、施設を出て自力で生活していかななくてはならない。社会で生き抜く術を持たない子ども達は、安定した職や収入を得ることも難しい。

「子どもデザイン教室」は、親と暮らせない子ども達の「生きる力」を育てる場所。1年間のカリキュラムでは、まずは「自分が好きなもの」をつくり、ものづくりの楽しさを感じる。そして次は、「世の中に必要とされるもの」を考えて制作し、年度末のバザーで販売する。また、別の取り組みでは、子ども達がデザインしたキャラクターを企業に売り込み、採用されればそのイラストが商品の「顔」となって店舗に並ぶ。それぞれ、商品が売れることで発生する収入の一部が、子ども達個々の口座に振り込まれ、将来のための自立資金となる。

「みんなで『どうしたら売れるか』を話し合うことで、創造力や対話力が身につきます。そして、自分のつくった作品を買ってもらうことで、『企業や大人に認めてもらえた』という自信が付き、自己肯定感が生まれるんです」と、創設者であり代表の和田隆博さんは言う。そう、ここではデザインを通じて、子ども達が将来生きていくための資金面、精神面を両側から支援する仕組みがつけられているのだ。

そして、子ども達にとって何よりも重要なのは、「できた」ことを一緒に喜び、共感してあげられる大人が常にそばにいること。和田さんがめざしているのは、施設でも家でも学校でもない「第三の居場所」づくりだ。

NPO法人 子どもデザイン教室

ご寄付やボランティア、物品の寄贈など、ご支援をお待ちしております。詳細はHPをご覧ください。

T E L : 06-6698-4351
E-mail : info@c0d0e.com U R L : http://www.c0d0e.com/
事務所 : 大阪市



「失敗しても、やり直せばそれは失敗じゃない!」。だから、ここには「失敗作」はひとつもない。

グループ従業員の ボランティア活動レポート

従業員・OBの皆さまの参加するボランティア団体に、阪急阪神ホールディングスが上限3万円を支援する「ゆめ・まち“ええこと”応援団」。昨年度の支援先と、参加従業員・OBの方のコメントをご紹介します。

2018年度
vol.4

初申請の4名を
ピックアップ!!



山手エンジェルス/吹田市
阪急電鉄 家近真一さん

キックベースボールで健康な身体づくりと心の成長をめざす女子チームです。

痛みが激しかった帽子を買い替えました。



穂積フットボールクラブ/茨木市
阪急バス 諏訪秀行さん

サッカーを通じてこどもの心と体の成長を促し、健全育成を目的としています。

支援金で、ピプスを2セット購入させていただきました。ありがとうございました。



売布ファイターズ/宝塚市
阪急電鉄 柏原英樹さん

野球を通じて、健康や体力の向上及び礼儀作法や集団生活を身につけます。

合言葉は「全員野球」。個々の「心・技・体」を鍛えています。



高槻フェニックス少年野球団/高槻市
ベイ・コミュニケーションズ 石井祐さん

技術だけでなく、礼儀や自主性も身につけられるチームづくりを。

結成して14年目、日々練習に励んできた結果、2018年度は地域の2大会で優勝するなど、着実に実力をつけてきました。技術だけではなく、礼儀や自主性も身につけられるチームづくりを。今年度は、高槻少年野球連盟から贈られる「最優秀マナー賞」も2年連続で受賞しています。今後は更に子ども達が自主的に考え、互いに協力し合えるチームをめざします。そして、自立・自律した大人へ成長するサポートをしたいと考えています。



支援金は野球連盟公式戦の参加費として活用させていただきました。

関目東ライオンズ/大阪市
阪急バス 瀧川文章さん

野球を通して協調性や仲間づくりを大切にします。

やしろの森公園協会/加東市
阪急阪神ビルマネジメント 河内猛夫さん

竹切用ノコギリを購入。作業がスムーズになりました。

北六甲台フットボールクラブ/西宮市
阪急電鉄 林大介さん

支援金を合宿時の宿泊費に使わせていただきました。

長尾台ミニバスケットボールクラブ/宝塚市
阪急交通社 坂井信教さん

部員確保が難しい中ご支援いただき、感謝します。

真道会館(大庄北支部)/尼崎市
阪神電気鉄道 玉沖好広さん

練習用道具を購入。安全に練習できて助かります。

日本ボーイスカウト 堺第4団/堺市
アイテック阪急阪神 井阪宣之さん

ボーイスカウト教育を通じ健やかな青年を育成します。

シルバーアドバイザー高槻/高槻市
阪急電鉄OB 故・北川信一さん

学校や文化会館でクラブ制作などを支援しています。

市民団体の活動参加のススメ

File 29 NPO法人 日本子ども支援協会のご紹介

NPO法人日本子ども支援協会は、里親制度の政策提言活動や全国的な啓蒙活動をしています。親子が親子で暮らせるように地域や国の様々な機関と連携し「子どもの最善」をアセスメントしながら活動している団体です。活動のお手伝いをいただけるボランティアを募集中です。詳しくは、下記へ電話またはメールでご連絡下さい。



※写真は「子ども食堂にて」という里親に焦点を当てた映画の試写会の様子

お問い合わせ先：NPO法人 日本子ども支援協会

TEL：0742-27-6266 E-mail：toiawase@npjcsa.com
URL：https://npjcsa.com/index.html

File 30 「ピアノの魔術師」ミッチェリーと仲間達による音楽ライブ

大人も子どもと一緒に楽しめるピアノのステージの観覧者を募集。ピアノを中心に、パーカッションやギター、ピアノなどそれぞれプロとして活躍している演奏者による元気で楽しいコンサートです。



日時：2019/3/16(土) 19:00~20:00
場所：池田市民文化会館 小ホール
参加費：当日券3,700円(定員100名)※会員(月々の会費1,200円)は無料
参加方法：下記へ電話またはメールでご連絡下さい。

お問い合わせ先：豊中池田おやこ劇場

TEL：06-6152-6421(月・水・金) E-mail：t-oyako@mbe.nifty.com
URL：http://toyonaka-ikedayaoko.art.coocan.jp/

Social People Interview

歌手 平原綾香さん



コンサートは運営経費を除くすべてを支援金として寄付。「その時に困っている人を助ける」がコンセプトのため、支援先は毎年変えている。

小さな一歩が世界を変えていく。だから私は歌い続けたい。

誰かのためなら力が湧いてくる。デビュー当時から歌で社会を元気にしたいという思いを持ち、チャリティーコンサートにも関わってこられた平原綾香さん。2015年には「平原綾香 Jupiter 基金」を設立、活動を続けておられます。

「誰かのために」がモチベーション

最初はラブソングでデビューする予定だったんです。けれど少し前に起こったアメリカ同時多発テロのため、社会は不安と混乱のまっただ中でした。そんな時に「Jupiter」という曲に出会い、「この歌を世の

中に届けたい」と強く思いました。リリースした翌年に新潟中越地震が発生し、ラジオに「この歌で元気をもらえた」「生きる勇気が出た」というメッセージと共に「Jupiter」へのリクエストが集中。あらためて音楽の力や、自分が歌うことの意味を教えられました。

「Jupiter」のイメージが強かったせいかデビュー当時から多くのチャリティーコンサートに参加してきました。そのうち自分でも「この思いが強くなり、2015年に「平原綾香 Jupiter 基金」を設立しました。そこまではモチベーションは何か、とよく聞かれるのですが「誰かのために」という気持ちでパワフルになりますよ。性格上、人のためだとがんばられるタイプかもしれません。

みんなが幸せになるコンサートに

この活動は始まってまだ数年ですが、ファンの方の口コミや、ボランティア団体のお手伝いなど、支援の輪が広がっています。つくづく思うのは、主役は私ではなく、みんなが主人公の活動だということ。歌を聴きに來られる方、サポートしてくれるスタッフ、一人ひとりが基金を支える大事な存在。もう感謝しかありません。

世界には苦しむ人があふれ、自分の無力さに情けなくなることもしばしばです。それでも自分ができる一歩を踏み出したい。戦争を憂うなら、身近な人と仲良くすることから始めたりね。私は、夢をかなえるのは1本の木を育てるようなものだと思っています。まずは苗を植える。コソコソと水や肥料をあげる。そうして気がつけば、大きな枝葉や実をつけた木が育っているのではないのでしょうか。だから私は基金をスタートさせ、こうして歌っています。いつの日か、晴れた種が大きく成長して世の中を幸せにできるように...

Profile 1984年5月9日、東京生まれ。2003年12月にホルストの組曲『惑星』の『木星』に日本語詞をつけた「Jupiter」でデビュー。2004年の日本レコード大賞新人賞や、2005年日本ゴールドディスク大賞特別賞をはじめ、多くの賞を獲得している。

「平原綾香 Jupiter 基金」の一環としてウェブサイトでも販売しているチャリティーグッズを読者プレゼントに。詳しくは裏表紙へ。

